

■■■■■■神父様

† 主の平和

突然のお手紙で失礼いたします。

過日、■■教会大聖堂の献堂 50 周年記念誌が刊行されました。■■神父様は大変お喜びのことと思うのですが、私は色々考えるところがあり、1000 円以上の寄付を東日本大震災の方に回し、頒布を受けないつもりでおりました。

ところが、先日、私のところに、

「記念誌を送付するから寄付しろ、厭なら自前で官製葉書を買って断わり状を出せ」という、木で鼻を括ったような書状が（何故か 2 通も……）届きました。私はその書状を確認したのが、書状中のデッドラインを過ぎた後のことだったので、私は記念誌が送付されてきてから、手づから返本させていただこうと思い、本が送られてくるのを待っておりました。

しかし、この書状、考えれば考える程、内容に納得ができなくなりました。今までの職場でもよく「中身をご覧いただいて御入用でしたら御購入を」という添状付きで書籍が出版社から送られてくることがありましたけれど、そういう書籍には必ず着払いの返送用伝票が添付されているものです。不要の場合の連絡を自費で、しかも黙っていたらそのまま寄付せざるを得ないように、というのは、実はその辺の業者と比較してもかなり悪質な行為だ……と、言わざるを得ないのです。

しかも、本が来てみたら、何と 2 冊送られてきたではありませんか。要するに信徒名簿に重複がある、ということなのでしょう。しかし書状の発送段階でもミスがあって重複が生じた、という話を聞いておりますし、そもそも信徒名簿を運用するために、数十万もの金を払って外部業者に専用のソフトウェアを外注していたはずですよ。それで、これでは、いくら何でもあんまりだ、と思うわけです。

しかも、今月号の『■■だより』によると、僕のように書状を送られた信徒が約 720 名もおられた、という衝撃的な記述があります。少し冷静になって、では今回の行為（寄付していない人全員に書状を送り、返答なき者に本を送りつける）に一体幾らかかったのだろう、と、この数字を基に試算してみると、十数万円もの金がかかることが分かりました。

私は、信徒の献金から成り立っている教会の予算を、このような行為に使われることにも賛同しかねますし、そのようにいい加減に十数万もの金を浪費する行為に加担するのも嫌なのです。これは、カトリックとしての私の魂の問題なのです。

しかし、共同体は共同体ですから、私の個人的見解で全体をどうこうしよう、という意思は全くありません。私が個人として、私に送りつけられた本をお返しさせていただきた

い、そして、本に関わる寄付は他（東日本大震災）にまわした、ということをお分かりいただけないと、ただ暴力的に突き返しているだけだと思われかねませんので、私の思うところを書状に認め、返本に添えることにしました。

コピーを同封いたしましたこの添状と共に、教会のポストに記念誌を返しておきました。ただその書状の内容から、信徒会の常任委員会等から何か言われるかもしれませんので、誠に失礼であることを承知の上で、このような手紙を■■神父様宛出させていただいた次第です。

添付した書状のために、私は常任委員会等から糾弾されるようなことになるかもしれません。もしそのような事態に至ったとして、もし常任委員会等との協議等が必要な場合（私の方には何も協議などすることはないのですけれど）、わずかばかりでも御同席のお時間をいただけますよう、よろしく願いいたします。おそらくそう時間を費す必要もないと思いますので。

以上、誠に勝手なお願いではありますが、何卒よろしく願いいたします。